第三種郵便物認可　新聞定價一ヵ月60円 一部賣3円〔月曜休刊〕　磐城日日　昭和27年（1952年）7月2日（水曜日）　【第568号】

磐城日日

發行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387番
振替仙台31,355番
編集兼發行人　長瀬芳郎

預金と無盡
株式會社 大東相互銀行

植田町六月定例議會
見舞金贈呈を可決
被害者小川氏ら三名に

植田町六月定期町会は三十日午前十時より町役場会議室に於て開催、議案審議に先だち渡邊町長より過般の中学校々庭東側の崖崩れにより家屋全壊した小川喜八郎氏に對し八万圓の保證と一万円の修理料、借家人の宮川六郎氏には六万円の見舞金島寛氏には一万圓の家屋修理料を贈ることを對策委員会に於いて協議し被害者の内諾を得た旨報告があつた、とれに対し下山田議員＝崖崩についての原因として全地は岩盤上三、四尺の薄層を雑草や灌木によつて地スベリを防いでいたような感があり、そこへ校庭の擴張による斜面上部の地ならしが大きな影響を及ぼしたとは想像に難くない」校庭の周圍に排水路を完備させることが急務であつたが雨季に入つても完成しなかつた点からみて請負人大森組にも責任の一たんはあると思われ、大森組も道義的に被害者に對し應分の見舞をするのが當然である　町当局は今後かゝる事態を二度と引起さぬよう萬全な方策を樹てられたいといえば小野塚議員もまた今回の責任は誰にあるかと詰寄る　鷲議長＝道徳的の責任を感じ誠意をもつて善後策を講じている、崩れた土砂の取方付や破壊家屋の修理、また目下失業中ときく被害者小川さんのため就職の斡旋にも乗出している　と回答して次の議案に入いる

一、植田町税條例の一部改正の件

二、昭和二十七年度に於ける植田町議員に對する臨時手當の支給の件

三、植田町職員の給與勤務時間その他旅費に關する條例の一部改正の件

一、二号案は原案通り決定、第三號案について成瀬議員は役場吏員の人格陶冶修養に意を注いでもらいたいと錦町役場の根本金平吏員の醜態を衝き、若し当町吏員にして私生活の上に於てもいかゞわしき風評等ある者を知つたなら逸早やく調査をなし公務上に汚点を印さぬよう監督を嚴にして公僕としての精神涵養に一般の意を注いでもらいたい、苟も公務を上そに「アルバイト」を稼ぐ様な人物が當町は無いと思うが、若し幾年か後に出たなら断乎處分すべしと力説した　次いで旅費支給を四段級に分けた區分に對し小川議員より宿伯料に大きな差別を付けた事は非民主的である、とまた鷲（富）議員も下級吏員の旅費を今少し引きあげるべきであるとて吉田助役との間に二、三の應答があつたが結局原案通り可決、續いて成瀬議員より植田町未亡人の經営になる授産所に對し町として幾分かの補助をなすべきであるとして社会の荒波と戰いつゝ更生の道を辿る未亡人の雄々しき活動とたゆまぬ精神をたゝえ、町はこれに援助する義務があると述べ議論は余に及び採決の結果十三対八で成瀬議員の緊急動議案は採擇となつた

小名濱地方の振興策に就て ③
草野輝一

工場の設立は現在および将来への地方人口増加に伴つて必然的失業問題であつて、この問題は社會政策上よりも最も重要な問題であつて、失業救済への途も開拓できる一つであると共に、地方財政と一環しても、税收入の途も明るくなる。この兩道の解決策にも眞剣に考慮すべき問題である、又人口吸收による人口增加は都市發展との關係を有する根本問題である。との一石二島の地方振興の對策に貢献するやう努力することによつてのみ地方民の生活の安定を確保する重要なる要素となろう。

次に商港としての現在の小名浜港の問題であるが現在の港は大型船の避難港としても不完全であり現に入港する船舶は、二千頓の船舶に過ぎず。この現状では常磐炭の輸送の一環性としての港の利用價値は困難な問題である。との商港としての現状の解決にもある程度まで擴張及完全整備をなすべき必要性を認められる。將來東北の商港としてもとの問題を眞剣に考慮し、目標を一路進まんことを、願ふものは私個人の考へではなく、地方主民の念願であつて、先に説明したる工場設置問題と密接なる關係をもち商港としての機能を發揮することになろう。

次に陸上交通について説明を加へてみれば、道路の改修、または新道路工事の促進である、地方の交通のよし、あしは文化及び産業の興隆は大なるもので、交通に支配されることは事實であつて過言ではあるまい。古いローマの都市または民主々義の発詳地、パリー等の交通の中心でありまた文化の發詳地でもあつた　この見地より、現在の道路の整備に對して緊急對策としての莫大なる予算の計上をうながしたい。現在の地方財政は餘りに貧弱であることとは知るものでありますが、この財政のためばかりといつておれない問題である。地方自治行政上の立場よりして、失業対策費の増額を當局に要請するとまた地方起債の方法、其の他都市計画の一環としての予算の計上を確立すること。小名濱を中心とする道路について、例へば泉、小名濱、江名、平間の道路の整備は最も急を要する最も大切な道路である。現在は仲々道路が狹く悪いことは住民の承知しているものであつて、この道路の改修は平、小名浜、泉間に隣接する各市町村が協同して改修のための当局への請願及び運動を展開し、この對策を解決すべき方法を促進すること。次に平、鹿島、小名浜間の道路の改道であつて、この道路は直通道路としての機能を発揮せしめること、もつて時間的な短縮をはかることにある。以上交通の中で道路を完備し、將來は舗裝道路への切換方法についても研究するし。予算を計上し除々に実施して行くことが現在の最善の方法であらう。

□　□　□

水野町長ら出縣
水害對策の陳情

去る六月二十四日のダイナ台風による豪雨のため小名濱町に於ける田畑の冠水は五百町歩に及び磐崎、泉兩村でも五十町歩の冠水があつた、そのうち百五十七町歩の稲付水稲は現在瀕死の状態にあり、二十町歩の畑作は收獲皆無と云う甚大な被害をとうむつておりその對策を陳情するため水野町長及び長瀬議長は關係各町村區長等を同道三十日出縣した

湯本町で厚生委員會

湯本町ではとの程厚生委員会を開き、縣より指定された衛生モデル地區としての運営方針を協議した結果、予算五十万円をもつて運営協議會を設立することになつた、また町内部落ごとに実践委員十名をあげ積極的に活動を展開すると共に飲料水の改善、汚物處理對策、ネズミ、昆虫驅除、母子保健食生活改善、傳染病結核の予防について座談会や講演会を開くことなど決定した

磐崎各校で連P結成

磐崎村各校PTAの役員間に連合PTAを結成してはとの議が二、三ヶ月以前より起り、そのため結成について準備を進めていたがいよいよ本月上旬結成することになつた

中學のリーグ戰
小名浜一、二中で行う

中体連石城ブロック八方部野球並びにソフト大会豫選は本二日午前九時より小名浜一中、二中、江名中、鹿島中、泉中参加の上小名浜一中、二中校庭に於いてリーグ戰により行われる　なお本豫選に優勝した校は七方部の優勝校と覇を爭そい郡大会に出場するので、全日は七方部（湯本地區）も磐崎中學校々庭に於いて湯本一、二中　磐崎中、渡邊中の四校の間に豫選が行われる

優良運轉者を表彰（湯本）

縣交通安全協会湯本支部では二十九日午後一時より全町公民館に於いて總會を開き、湯本、磐崎地區の優良運轉手十七名の表彰式を行つた（カッコ内は無事故年数）佐藤英吉（二四）柴田麗一（一八）鈴木久（一五）後藤新助（一三）渡邊市郎（一六）箱崎喜平（一五）佐藤留吉（一二）北郷一衛（九）高橋浩造（九）渡邊寛（六）長谷川豊三（六）皆川通（六）佐藤幸次（五）渡邊章（五）後藤武久（五）庄司駒夫（五）村上永喜（五）

学校基本調査の審査會

石城地方事務所では本二日午前九時から統計審査会を開き、學校基本調査の實施について打合を行ふ

味よい！　香りよい！　飲心地よい！
安心して飲める中根のラムネ
成田山參拜御招待
宣傳大賣出し
目下東京一流メーカーより特別派遣の技術陣の指導により香料の付加、甘味料の調合、其他に一大刷新を加い、在來の市販品に比し斷然優秀なるラムネを店頭に提供して居ります
これを期として販賣店の皆様方に對し三〇箱毎御買上の方々に成田山參拜御招待をいたし其の勞に御報いする事となりました
振つて賣上倍加運動に御參加販賣店一同御參拜あらん事を御願い申上ます
◎〆切期間＝九月下旬
◎參拜予定＝拾月中旬
尚壹箱毎に補助券を差上ます
小名浜町花畑
中根センベイ店
ラムネ製造部

佐川品質第一主義
呉服　服地
輸出に進出の規格品・責任絶対保證付
本場近江
佐川のかや
この夏の粋を競う
輸入ドイツ染料使用のため洗つても絶對に落ちません
新案佐ゆかた
佐川呉服店　平市五丁目 電話1486番
營業所在地　白河～郡山～福島～仙台～中村～平
同じ品必ならず安い

經費をかけずに良い品安く
專門店会チケット御利用下さい
御子様へ御菓子
動物ヨーチエン 百匁60円
カルケツト 百匁70圓
學生さんへ
上質ノート 12枚 5円
上質大学ノート 15圓より
野球帽55円より110円
御孃さん奥様へ
夏は木綿高級新柄服地入荷
白生地ヤール60円 各種
化粧品 柳屋 メヌマ ジユジユ パピリオ 80圓
花王洗濯石鹸德用型10円
御勤の皆様へ
開衿190円より800円
皮底サンダル460円より
男女雨靴650圓より各種
白アメ底300圓330圓
小名浜第二小學校前
皆様の店　平マーケット
電話297番

【1】（除月曜）日刊 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月19日 運輸省特別承認扱第684號
磐城日日 昭和27年（1952）7月2日（水曜日） 第568号

平商工會議所總會終る

商工會館の建設費

三百万圓は關係筋の寄附

平商工会議所議員総会は二十七日平市役所會議室に於いて開き、事業報告二十六年度決算報告があつた後、信用保證協會平支所開設について協議を行つた結果、開設基金二百万円のうち町村關係出資百萬円の八割はまとまり、平市の百万円は近く市財政委員会を開いて出資方法を決定することになつており本月早々開設することを申合せたまた商工会館建設については五百万円の予算のうち縣並に平市より各々百万円の補助の見透しがついたため、残り三百万は會員及び關係事業場よりの寄附によることにして細部に亘つては常任委員会に一任することになつた

小名濱職場野球連

五日一中で發會式

（既報）小名浜社会人野球連盟の結成準備会は二十八日午後一時三十分より同町公民館で開催十三チームの代表者が出席して種々協議を行づた結果、横町チームよりこの連盟は各職場（産業人）の野球部が集つて結成されるのであるからとして〃小名浜職場野球連盟〃と名稱を変更決定した尚三十日午後六時よりは配電小名浜營業所において第二回準備會を開き顧問、役員を次の通り決定し交渉する事になつた

昨一日は正午より主將会議を開き來る五日午後一時より一中校庭で行う発会式及紅白試合（各チームより二名）の打合を行つた

名譽会長 水野政次郎（交渉中）
会長＝志賀要平（交渉中）
副會長＝未定（一名）
幹事＝各チーム一名及び藤田、遊佐軍之助
会計＝未定（二名）
顧問＝各チーム職場長、長瀬助役、石井体協会長、長瀬磐城日日新聞社長

尚參加の決定せるチームは次の通りである 小名浜海上保安部、警察署、郵便局、電報電話局、消防署、水產試驗場、町役場、配電小名浜營業所、日冷小名浜工場、丸濱運送、丸江運送、中央青果、磐城日日、教員組合、小名浜臨港（交渉中）

水素勞組の執行委員會

日本水素小名浜工場勞組では昨一日午前九時より全組会議室に於て執行委員会を開き次の議題について打合せを行つた

一、全工場社宅入住規定の組合案審議
一、全國合化勞連大会の模様並びに今後の運動方針

作文

修学旅行 ①

長倉小學校六年

御代尚子

五月二十八日私達修学旅行の汽車は五月雨の降る中を東京をめざして走つております

窓の外に見送りの方々のうちふるハンカチを目にのこしてどんどん進みます、車中ではお友達や、つきそいの方々のにぎやな話し聲、だんだん雨もやみ外を見ながら行くと、パット勿來の海岸が目につきました、春私達が遠足に行つたのです、とても美しい景色でした汽車はスピードを出し、どの駅もとまらずに走ります、野も山も、あとへとんで行きます、私達の見た事もない大きな鐵橋を三つもありました、汽車にもそろ〱あきた頃先生が「もうすぐ東京ですよ」とおつしやつたので、外を見ると上野の五重の塔や博物館の大きな建物が見え出しました上を見ると、町がよく見えました、道路はみなアスハルトで、電車がひつきりなしに走つております、何もかもめずらしく皆大喜びをしている内に汽車は上野のホームにすべりとみました

はじめて來た東京のにぎやかさ、さわがしさに、まずおどろきました、先生の云う事を聞き、はなれぬようにして、やつと觀光バスに乘りとみました、觀光バスで始め東京大学を見ました、おしまい頃に正門がありました、それから丸の内ビルデング街に入つた時は、どとを見ても大きな建物ばかりでびつくりしました、色々な説明を聞きながらバスは國会議事堂をすぎ明治神宮を遠くから見て皇居前につきました、皇居前にはいくつもの御門がありました、屋根はまつ青に、ろくしようをふき、本当にきれいでしたこゝで車をおり、玉じやりをふんで、二重橋の前に、つきました、おほりのながめも美しく、繪を見ている樣でありましたいつも私達が寫眞で見るこの景色は本当に日本一であります、この皇居の中に天皇、とうごう兩陛下がおいでになると思うと、何となくありがたいような氣がしました、おほりのやなぎの下で、記念の寫眞をとりました、それから楠正成のどうぞうを見ました、馬も人も生きている樣に見え、今にもとびだすかと思われるほどです

皇居に別れ二たびバスにのりました、今度は日比谷公園をすぎ、勝鬨橋につきました、一回わたり又歸りにわたりました、この橋はすみだ川にかゝつているものです、この橋は一日に三回開閉し、船の行來を、便利にします、それから銀座通りに出ました

話に聞いた服部時計店、大きな時計を見て、おどろきました、それから少し行き三越本店に、バスをとめて中を見物しましたウインドには、きれいなネオンがついたり消えたりしております、品物は、みなきれいでほしい物ばかりです、ねだんもそうとうたかいのでしよう、東京のデパートでも有名な三越は地上七階地下二階の最大デパートです

※

※

※

赤井の金へン泥御用

石城郡赤井村赤井字諸荷砂利採取人夫河内某（一七）同石川某（一八）の兩名は二十八日窃盗容疑で平地區署から送検された、河内は廿五年二月ころ同村赤井字根内日本窯業赤井工場＝責任者赤尾清次氏（四〇）＝方倉庫からロストル四枚千二百円相當を盗み仝年八月までに前後五回にわたつて同様ロストル、銅線など計七千円相当を窃取、さらに兩名共謀で前後九回にわたつて機械部品など盗んだ疑いによるもの

底曳一隻に四十万

秋職の乘出し資金

小名浜機船底曳網漁業協同組合では豫てより全組所屬船四十隻の秋職乘出資金の融資について金融關係と交渉中のところ一千六百万円の融資を得たため一日一隻當り四十万圓を各船主に交附した

佐川を移送

人身賣買容疑

小名浜地區署では去る二十六日小名浜町船引場一三無職佐川登（三四）を人身賣買容疑で檢擧取調中であつたがこのほど山梨縣富士吉田地區署へ身柄を移送した 同人は去る四月ころ同町幡摩之作某女（一八）同町渚某女（一八）の兩名を山梨縣富士吉田市下吉田町料理店遊月方に周旋して七千円の禮金を貰つた疑いによるもの

覺醒劑違反で送檢（小名）

小名浜地區署では去る二十日午後十二時ころ小名浜町渚一漁夫竹岡勝雄（二三）を覺醒劑取締違反現行犯として同町相馬屋カフェー前で檢擧取調中であつたが、このほど書類送検となつた 同人はヒロポン五本を所持していたもので檢擧されるまで一二九本を注射しているヒロポン中毒患者である

落磐で死傷

大日本磯原坑

二十九日午後九時十分ころ大日本勿来炭礦磯原坑で落盤あり採炭夫菊地滿男（三九）さんは即死、同遠藤淸（二八）さんは全治一ヶ月の重傷を負つた

暴行現行犯で山口擧る

泉村瀧尻東下土工山口四郎（二六）小名浜町大字岡小名字水押鳶職前橋喜七郎（二四）の兩名は去る三十日午後十時半ころ泥醉の上、小名浜町下町鷹取カフェー前にて通り合せた同町後宿菊地次郎（二五）さんを理由なくして毆打した外、通行中の數名に對しても暴行を仂き暴行傷害現行犯で小名濱地區に檢擧されたなお山口は酒癖悪く傷害容疑で數回他署に挙げられたことがある

手當千圓を要求

湯本町自治勞組

湯本町自治勞組（組合長村上俊夫）では先に要求していた雨季手当一人当り千円貸出しについて三十日午前九時より役場で回答を求めたが、松本町長、小井戸厚生委員長らは「一人當り二百圓、最高千円を限度とし希望者に貸出し返濟期限は三ケ月間とする」と回答した

尚名組では午後三時ころ約四十名の組合員が役場に集りはじめの通り一人當り千圓貸出しの件を近藤社会課主任らに要求、交渉した

小名三小で浪曲大會

小名浜町第三婦人会（舊玉川）では田植も終つたので「農家の皆さん御苦勞さまでした」と慰安浪曲大会を本二日午後一時より住吉の第三小學校講堂に於いて開催する、出演は雲井滿月、雲井滿太郎、雲井港月、雲井滿月孃、大刀山巖その他

線路枕に往生

湯本町傾城常磐湯本礦臨時坑夫村上勇さん（二七）はでい酔して卅日午前零時三十分ころ同字地内常磐線路をまくらに寝ていたところを下り駐留軍用急行列車にひかれて即死した

天氣豫報 2

【本日】南西の風で曇勝ちの天氣ですが日中は薄陽が射しますが北部地方は小雨の降る處もありましよう

【海上】南西の風で波立ちますが後程おさまりましよう

魚菜市況 1

【小名浜中央青果市場】桃二三〇～三五〇胡瓜二五～六〇茄子九六～一二七馬鈴薯二〇～三〇玉葱二五～三〇人參三六～五七玉菜一五～二〇刀豆二〇～四五大根二〇～五〇南瓜五〇～六〇さつま六〇～六一梅四五～六五卵九、五〇～九、八〇

【小名浜魚市場】唐人二七ぎす八〇黒子三二あじ二五とび魚三〇〇小平目四六〇たい四〇〇すゞき五〇〇ぎす五〇いなだ二〇〇

吳服 服地
ゆかたとかや
佐川吳服店
TEL [illegible]

眞の女性美は……
御調髮のセンスから……
皆樣がキツトお氣に召す
技術と感覺はスヅランの
自慢でございます
鈴蘭美容室
小名浜町下横町（駅前通り）

産婦人科
レントゲン
久保田醫院
院長 久保田眞
副院長 久保田眞一
助産婦 久保田イネ
小名浜町横町（電二二一）

お買物には便利な
専門店会チケツトを
良い品をヨリ安く
化粧品
手提袋
子供服
晴雨傘
雨傘
レーンコート
ワイシヤツ
メリヤス
廣巾服地
本染ゆかた
良品廉賣 良品廉賣
良い品をヨリ安く
小名濱 越 藤越 TEL561

内科
小兒科
皮膚科
放射線科
高木醫院
小名浜町定西五
電話四九九番

女子事務員募集
一、学歴 新制高校卒業者（本年度に限る）
一、年令 二十才迄
一、志操 堅固容姿端麗の方
一、住居 小名浜町及び通勤可能区域居住者
右希望者は來る七月六日迄に自筆履歴書持參又は郵送の事詮考には追つて通知します
七月二日
小名浜町水素前
小名濱運送株式會社